



## 本村幼稚園 5月の園だより

平成29年4月28日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

### 子供たちのステップアップ

園長 山村 登洋

風薫る5月となりました。入園、進級して約3週間が経ちました。今年は満開の花で子供たちを迎えてくれた桜は、若葉に彩られています。今月は鯉のぼりにバトンタッチです。

りす組の子供たちは少しずつ幼稚園に慣れてきました。登園してご家族の方から保育室に行く時に

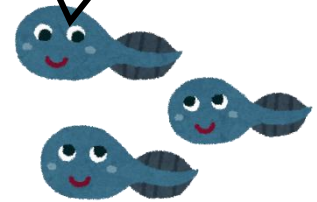


別れがたく、なかなか手を離れずに泣いていた子供たちも、日を追うごとにご家族の手からすぐに保育室へ向かうようになりました。それもそのはずです。教室の中には遊びが一杯です。ままごとや粘土遊び、春の訪れを象徴するチョウチョを作るコーナーもあります。パペット人形で遊んでいる子供たちもいます。まるで保育室は遊びのテーマランドのようです。このように自分の遊びに取り組めるようになって少しずつ幼稚園の生活に慣れ、安心して

過ごせるようになってきました。そして、教師に親しみや安心感をもち、自分のことを理解してくれるという信頼関係を築いて、子供たちが安心して自分らしさを出してほしいと思います。私たちも子供たちの思いを受け止め、尊重しながら子供たちの自立を支えていきます。

年長のはと組の子供たちはお兄ちゃん、お姉ちゃんになったという喜びや自覚をもち、りす組のみんなをリードしています。歓送会や離任式、誕生会の準備のために装飾をしたり、司会の練習をしたりと早くも幼稚園のリーダーとしての活動に取りかかっています。先日、大雨が降ったときに本園のビオトープ（観察池）が溢れてしまいました。その影響でビオトープにいたおたまじゃくしが地面に流れ出されしまい、放っておくと干上がってしまう危険に直面しました。はと組の子供たちは、おたまじゃくし救助隊として、何百匹も投げ出されたおたまじゃくしを一生懸命にビオトープへ戻してくれました。子供たちにとっては小さな生命を自分たちの手で守ってあげた、助けてあげたという達成感で一杯でした。こうした経験が生命尊重の第一歩に繋がっていきます。はと組のみなさん、ありがとうございます。素晴らしいです。

助けてくれてありがとう



今月はゴールデンウィークがあり、子供たちとご家庭で楽しく過ごす大切なお休みです。ご家庭で楽しくお過ごしになった分、連休後に4月当初に戻らないよう、ご家庭でも「幼稚園に行けば沢山遊べるよ、楽しいよ。そしてお友達や先生に会えるよ」とお声かけいただければ有り難いです。